

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	カウンセリング実務演習Ⅱ				
担当者氏名	大森 彰				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

カウンセリングの基礎を学ぶことにより、人とのよりよい関係、人への心の援助はいかにあるべきかを考えていく。又、多様な事例を通して、保育教育における基礎的諸問題についての理解も深める。

《テキスト》

適宜資料を配付する。

《参考図書》

適宜資料を配付する。

《授業の到達目標》

心の問題の解決に向けて、適切な解決と対応を身につけるために、保育・教育活動における具体的な事例研究を通して、面接場面での観察、面接から得られた情報などにより、臨床心理学的援助技術の基礎を学ぶ。

《授業時間外学習》

予習・復習の内容、方法は授業時、適宜紹介する。

《成績評価の方法》

- (1) 平常点（グループワークなどの授業態度） 30%
- (2) 授業の内容に即したレポート 30%
- (3) 期末レポートテスト 40%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	実務演習Ⅱの学習の流れ、
2	カウンセリングとは	心理療法とカウンセリング
3	自己理解	「私とは、どんな人」自分自身を見つめる→自己表現
4	対話分析	交流分析の自我状態と対話分析
5	ラポールの形成	ラポールの形成とは ①遊びによるラポール形成 ②肯定的資質の探求
6	カウンセリングの三つのアプローチ	・精神分析、行動主義心理学、来談者中心療法 (傾聴→応答のレッスン①)
7	カウンセラーの態度	ロジャーズの非支持的カウンセリングの原則 ・無条件の肯定的配慮、純粋性とは (傾聴→応答のレッスン②)
8	主訴を捉える	主訴とは(語られる主訴と語られない主訴) クライアントの問題と問題へのアプローチ
9	共感のレッスン	くり返し、感情の反射① (傾聴→応答のレッスン③)
10	フィードバック	くり返し、感情の反射② (傾聴→応答のレッスン④)
11	支持の応答	要約・明確化の技法 ・コンプリメント(リソースに目を向ける)
12	対決と直面	積極的技法(促進的な対話と応答の仕方) ・ソリューショントーク
13	未来志向型の技法	解決志向ブリーフセラピー(ミラクルクエション、スケーリングクエション)
14	対話のプロセスレッスン	グループワーク: ロールプレイ(役割を演じる) ・シナリオを考える
15	まとめ	カウンセリングの意義についてまとめる